

学校だより

烏帽子

第3号

EBO SHI

共想 ～ 想像 思いやり 思い出 ～
共に贈り合う3つの「想」

校訓 真理・正義・友愛・責任 神戸市立烏帽子中学校
令和6年6月 3日

「習学良好」～思い出に溢れる旅～

3年総務

先日、5月24日（金）～26日（日）の2泊3日で64回生は福岡・長崎方面へ修学旅行に向かいました。幸い、雨に一度も遭遇することなく、気候に恵まれました。大きな事故、トラブルもなく無事、最終日の解散式を迎えられ、とても嬉しく思います。また、解散式の際には、多くの保護者の方にお迎えに来て頂き、誠にありがとうございました。生徒達の充実した表情から修学旅行を通して、たくさんのことを学び、そして心に残る思い出を創ることができたのではないかと思います。

さて、烏帽子中学校64回生の修学旅行ですが、スローガンはタイトルにあるように「習学良好」～思い出に溢れる旅～です。私はこのスローガンとサブタイトルがとても気に入っています。3年生の仲間同士で決められた行程を共に行動する団体旅行ではなく、「自分たちで各行程でのポイントを考え、話し合いをしてきまりを作り、みんなで成長していく修学旅行」だったと言えます。

この修学旅行に向けて、修学旅行実行委員のメンバーが中心となり、何度も話し合いを行いました。64回生のメンバーならどこまで任せられるか、その判断基準は普段の学校生活の様子であったと思います。時間、持ち物、座席、行程の進行など64回生が烏帽子中学校に入学して2年が経ち、これまでの成果が、この修学旅行のプログラム全体であったと私は感じています。

私は、これまで学年集会を通し、今回の修学旅行を「集大成」と位置付けていました。この3年間の宿泊行事を振り返ると、

1年次では、学年教師が先導し、学年レクを盛り上げ、生徒のみんなが付いていく。

2年次では、クラス内で話し合い、内容を考え、企画・運営をしていく。

3年次では、学年全体で有志を募り、自分たちの修学旅行を創り上げていく。

修学旅行の中で、64回生の色々な姿を見させてもらいました。新幹線やバスで楽しそうにしている姿、班別活動で仲間とお土産を探しながら話をしている姿、マリンスポーツで雄大な海を満喫している姿、普段学校内ではあまり話をしたことがなくても、自然と会話が弾んで距離が縮まったと思います。そんな皆さんの姿を見て、「修学旅行に行けて良かった」と感じています。

また、1、2年生の学年協議会の皆さんが中心となって「いってらっしゃい」「おかえりなさい」のメッセージを作ってくれました。このように、64回生は保護者、地域の方々、そして後輩の皆さんから支えられていると改めて感じています。この感謝の気持ちを今度は普段の学校生活を通して、還元できるように頑張っていきたいと思います。



～ 7月の主な予定 ～

7月 2日（火）	（全）学級委員会 ③卒業アルバム写真撮影
7月 3日（水）	（全）常任委員会
7月 4日（木）	（全）全校協議会
7月 5日（金）	③進路講演会（公立）5・6P
7月 8日（月）	③卒業アルバム写真撮影
7月11日（木）	（全）健全育成教室 6P
7月12日（金）	③性教育デリバリー授業4P （全）個別懇談会～18日（木）
7月19日（金）	終業式・週番全体会
7月22日（月）	夏季休業 いきいき生徒会会議
7月23日（火）	ALTALK
※①は1年生、②は2年生、③は3年生です。	



6月の行事予定

		SC	部活	①	②	③	特1	特3
1 土	②野外活動@国立淡路青年の家		○					
2 日			○					
3 月	②代休		○	○	×	○	○	
4 火	②代休 ①掃除なし		○	○	×	○	○	
5 水	②野活事後指導 学級委員会→職員会 PTA挨拶運動		×	○	○	○	○	
6 木	常任委員会15:40～16:10	○	×	○	○	○	○	
7 金	①校外学習(AM)わくわくオーケストラ(PM) ②進路講演会(私立)		○	×	○	○	×	○
8 土			○					
9 日			○					
10 月	全朝○ 全校協議会 ②実力考査		○	○	○	○	○	
11 火	尿検査【再】		○	○	○	○	○	
12 水	①③耳鼻科検診5.6p		×	○	○	○	○	
13 木	③都賀川清掃5.6p	○	○	○	○	○	○	
14 金	週番打合せ1班 ②体力・運動能力調査 5p 総体壮行会		○	○	○	○	○	
15 土			○					
16 日			○					
17 月	全朝○		○	○	○	○	○	
18 火	①②歯科検診		○	○	○	○	○	
19 水	①②耳鼻科検診 考査一週間前・対話週間5.6p 45×6+30(対話) ②③質問教室		×	○	○	○	○	
20 木	①③質問教室	○	×	○	○	○	○	
21 金	温かい食缶給食 週番打合せ2班 ③都賀川清掃予備日5.6p ①②質問教室		×	○	○	○	○	
22 土			×					
23 日			×					
24 月	全朝○ ①②③質問教室		×	○	○	○	○	
25 火			×	○	○	○	○	
26 水	期末考査		×	○	○	○	○	
27 木			×	○	○	○	○	
28 金			○	○	○	○	○	
29 土			○					
30 日			○					

生徒作文

個性を生かした習学良好 ～みんなで青春～

1組 男子

『行ってきます！』

元気な声は、新幹線のロビーに響いた。そんな楽しく始まった習学良好。今回、烏帽子 64 回生に所属している 138 名と先生方 12 名による青春感じる物語は、5 月末に行われた。誰もが予想しただろうか。64 回生には意外な一面と新しい個性があることを。僕は、64 回生の団結力はとても強く結ばれていると思う。なぜなら、個性が豊かで明るい人が多い 64 回生が、普段はあまり見せていない優しさや思いやり、仲間想いの一面を持っていることが本当に証明された 3 日間だったからだ。

僕は、「修学旅行は、一つの『青春物語』である」と考えている。皆がどれだけ仲間を大切にするか。本当の仲間になっているか。そこが試されているからだ。自分は、今まで個性を大切にしてきた。そして、この個性に良いところはないか、個性を生活に生かせないかとずっと考えてきた。けれど、今回の物語（修学旅行）を通して気づいた。僕たちの個性は自然と良い方向に出てきていることを。そのことに気づけた僕は、成長したのだと思う。新幹線の時も、船の時も、バスの時も、平和学習や班別、マリンスポーツの時も、みんなが何かしら一つの役割を果たせたから上手くいったということが多かった。64 回生の姿は、まるで青春の風のように軽やかで行動的だった。例えば、眼鏡橋のハートマークを見つけて大喜びをしているときでも、「写真、撮ってあげよか」や「邪魔になるから場所譲ろう」など自然に動いていた。これらの行動が自然にできていたことが修学旅行の成功につながったと思うし、これが 64 回生の個性を生かすことなんだと思う。

僕は、この大きな青春物語（修学旅行）をハッピーエンドで終えられたことに、とても感動している。課題は成長に必須である。これからも中学生生活にある課題を克服していくと心に決めた。今回の 64 回生の青春物語は成功という幕を下ろした。一つのことを成し遂げた 64 回生の姿は、空高く飛ぶ鳥のように軽やかだった。



修学旅行

2組 女子

とても楽しみだった修学旅行。心に残っていることはたくさんありますが、その中で特に心に残っている思い出を書きたいと思います。まずは出発式・入館式・離島式・解散式の時お世話になっているスタッフの皆さんの人数に

驚きました。校外学習のような感じではなく、3日間お世話になる人がたくさんいて、「とても支えられているな」と感じました。バスの中でも普段はない長崎や福岡のことについて話してくれる人がいて、とても楽しめました。

二つ目に心に残っていることはホテル長崎での出来事です。ホテルに入った時「なかなか泊まれるようなホテルじゃないな」と感じました。部屋の中もとてもきれいでお風呂もきれいで、ご飯もとてもおいしい。なかなか泊まれるような所じゃないので、思いっきり楽しめました。民宿は離れている人もいたけれど、64 回生でホテル長崎をととても楽しめてよかったです。

最後三つ目は、マリンスポーツ体験です。普段海に行ってもすることがないようなことを種類多くさせてもらって、とても良い思い出になりました。そして何より海が絶景なのでとてもテンションが上がりました。

私はこの修学旅行でみんなで協力する力、感謝を忘れない、お世話になっている人への気持ちを大事に過ごしてきました。野外活動とは違う二泊三日。友達の普段見ない姿や考えを共有する中で意見が分かれることもある。でも、その時に話し合いをして協力することで更に仲が深まると私は思っています。先生の言うことは守る、それは当たり前のことだからちゃんと守って行動する。友達の考えを大事にし、話す。この二つも私が三日間大事にしてきたことです。これから大変なこと、辛いことがたくさんあるかもしれないけれど、この 64 回生なら助け合えるな、乗り越えられるなと思いました。64 回生のみんなと修学旅行に行けて本当に良かったです。



修学旅行の思い出の一部

3組 男子

今回の修学旅行は、今までの野外活動に比べて、移動時間が多かったと思う。新幹線ではお菓子やカードゲーム、写真撮影もできるから時間が過ぎるのがとても早かった。バスの中は曲しか聞けなかったけど、近くの席の人としゃべってお互いのことを知り合うことができた。新幹線やバス、フェリーなどの移動時間で友達との絆を深めることができたので良かった。

長崎での班別行動の時はもっと計画的に行動することができたと思う。まず、眼鏡橋に行くのに時間がかかりすぎてしまったことと、地図がよくわからなくて迷った時もあった。そのせいで最後に時間が無くてお土産を選ぶ時間が短くなってしまった。途中で予定が変わったとはいえ、もっと計画を立てて行動すればよかった。

ホテル長崎では、部屋で話したりゲームをしたりして楽しむことができた。また、窓から見える夜景が宝石のようにキラキラしていて本当にきれいだった。

た。ごはんも長崎の料理が食べられてとてもおいしかった。

壱岐ではマリンスポーツをした。カヤックやパドルボードでは仲間と息を合わせてすることができた。バナナボートでは絶叫アトラクションにも劣らないようなスリルを味わうことができた。民宿の晩御飯に出てきた壱岐牛は柔らかくてとてもおいしかった。

太宰府での班別行動では大宰府の文化に触れることができた。食べ歩きもできたし、お土産もたくさん買えてよかった。

今回の修学旅行では、たくさんの文化を見ることができた。長崎の異文化風の文化に対し、大宰府の伝統的な文化も体験できた。平和について考えられたこともよかった。

班別行動で学んだことは、計画的に行動したほうが良いということで、これを今後の生活でも意識していきたい。



4組 男子

僕は、修学旅行に行って成長したなと思ったことがたくさんありました。まず、初日の班別行動で最初のほうはみんなで意見を合わせて、一緒に行動することができていたけれど、最後の少しの時間で女子と男子で別れて行動してしまっていて、あの時はみんなで決めたからいいやって思っていたけど、今考えてみるとあの時自分が「みんなで行こう」ぐらいの一言を掛けることができていたら、最後まで全員で行動できたと思いました。こういう考えができるようになったのは、成長したということなんじゃないかと思いました。マリンスポーツではたくさんの経験をして心が躍ったし、平和セレモニーではバスで盛り上がっていた自分の気持ちにメリハリをつけて、戦争で犠牲になった方々の気持ちになって真剣に取り組むことができました。実際に自分がその場にいたら…そう考えると、心がえぐられるようでした。そして、戦争はもう二度と起こしてはいけないと自分の意思を改めて確認することができました。

たくさんの体験をすることで、自分の足りなかった部分に新しい情報をインプットすることができました。この二泊三日の経験を、これからの学校生活、日々の動き、自分の考え方などに生かしていきたいと思いました。

